

地域医療機能推進機構（JCHO）仙台病院

2021年4月新築移転に合わせ総合診療科拡充 百万都市仙台で輝くホスピタリストを募集します

JCHO 仙台病院は、旧・仙台社会保険病院時代より腎疾患を中心とした先鋭的医療を実践してきた 428 床の総合病院です。JCHO への編入、そして地域の実情を考慮することにより近年は総合診療科の活躍するフィールドが拡大しており、2021 年 4 月の新築移転を機に総合診療科は更なる発展を期するべく、以下の職種を広く募集いたします。

1) 首席ホスピタリスト 1名

- * 内科を中心とした総合的な臨床能力に長ける、医師免許取得後 7-20 年目（入職時）の医師
- * 専門医資格は問いません
- （業務）ホスピタリスト業務の先頭に立ち、最も困難・複雑な症例を担当する
外来、救急当番、教育、委員会業務などは本人の希望を最優先し優遇します

2) 総合診療科医師 若干名

- * 内科を中心とした総合的な臨床を実践したい医師免許取得後 3 年以上（入職時）の医師
- * 専門医資格は問いません。なお本採用は各種専門医制度研修プログラムとは異なります
- * ICD や JMECC インストラクターなど、各種有資格者を優遇します
- * 腎センター、仙腸関節センターなどでの院内短期研修も可能です
- （業務）ホスピタリスト業務、総合診療科外来、研修医教育、救急当番、委員会業務

現時点で、当院のホスピタリスト業務には総合診療科病床での未診断・多領域重複症例の他、整形外科や泌尿器科の入院管理の補助、地域包括ケア病棟の担当医業務を含みます。当院の首席制度はオーケストラに着想を得た、旧来の年功序列的な医長制度とは異なる、能力に優れた医師が年齢や立場を問わず活躍できる制度です。首席に給与面での優遇はありませんが、ホスピタリスト業務&自己実現以外の業務負荷を極力減らすことで、快適なホスピタリスト生活を杜の都仙台で過ごしていただければ幸いです。

処遇や業務内容の詳細については下記までお問い合わせください。

【連絡先】

tkswatanabe@med.tohoku.ac.jp

総合診療科医長 渡邊 崇（ACP 日本支部総会 2014 査読委員・演者）